

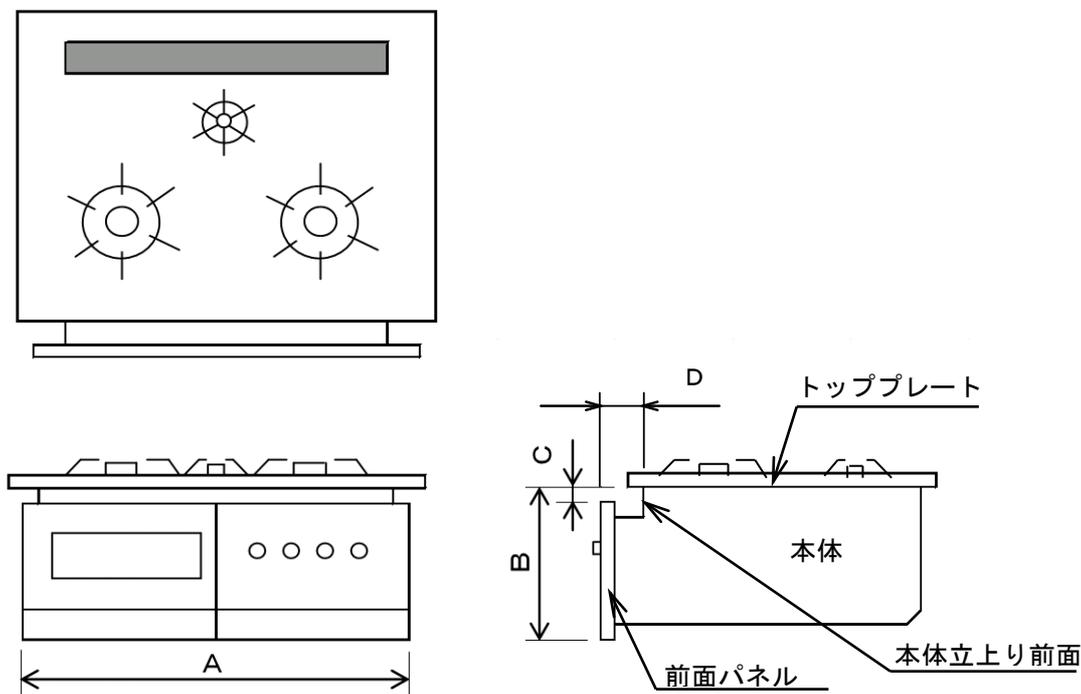
1. 対象製品

ガスコンロ（ビルトイン）

略称：CjK ガスコンロ

2. 標準（共通）の部位

ガスコンロ（ビルトイン）の標準（共通）化の部位を図1に示す。



- A：前面パネルの前面の巾寸法
- B：トッププレート下端から前面パネル下端までの高さ寸法
- C：前面パネル上端からトッププレート下端の寸法
- D：前面パネルの前面から本体立上り前面の寸法

図1－標準（共通）化の部位

3. 寸法・形状

ガスコンロ（ビルトイン）の標準寸法は表1の通りとする。

表1－各部位の寸法

単位：mm

項目	寸法
A：前面パネルの前面の巾寸法	$590 \leq A \leq 599$
B：トッププレート下端から前面パネル下端までの高さ寸法	$215 \leq B \leq 223$
C：前面パネル上端からトッププレート下端の寸法	$41 \leq C \leq 53$
D：パネル前面から本体立上り前面の寸法	$58 \leq D \leq 70$

4. 表示方法

- ・印刷物・電子媒体に、当該商品が長期使用対応部材であることを表示する。
または、“CjK” マークを表示する。
- ・部品への表示を行う場合は、機器本体に長期使用対応部材であることを表示する。
または、“CjK” マークを表示する。

5. 特記事項

- 5.1 ガスコンロ（ビルトイン）がカウンタートップに納めることのできる条件
 ガスコンロ（ビルトイン）は図2に記載したカウンタートップの開口部範囲内で納めることが可能であること。
- 5.2 ガスコンロ（ビルトイン）を取付けるカウンタートップが具備すべき条件
- ・この基準に合致したガスコンロ（ビルトイン）を取付けるカウンタートップは図2に記載した間口560～564mm、奥行き460～464mm、四隅R25mm以下の開口を有し、ガスコンロ（ビルトイン）の重量に耐える強度を有すること。
 - ・尚、カウンタートップ前端から開口部前端までの奥行き寸法（図4参照）は58～70mmであること。
 - ・水返し後端から開口部前端までの平坦部の奥行き寸法（図4参照）は35mm以上であること。
 - ・前下がり部奥行き寸法（図4参照）は45mm以下であること。
 - ・前下がり部高さ寸法（図4参照）は40mm以下であること。

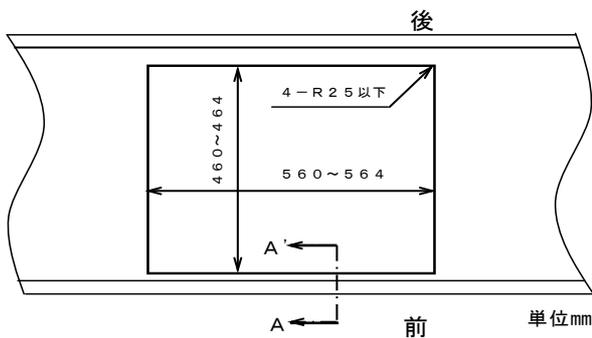


図2ーカウンタートップ開口部平面図

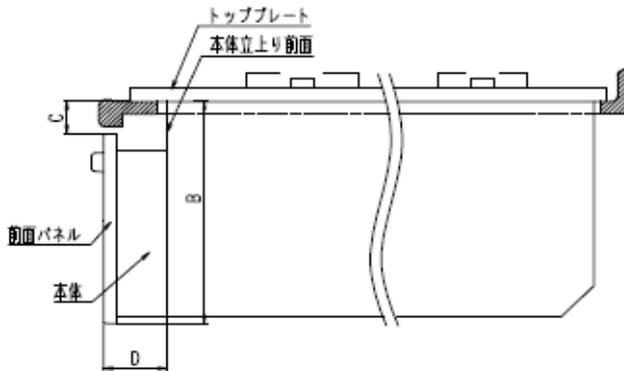
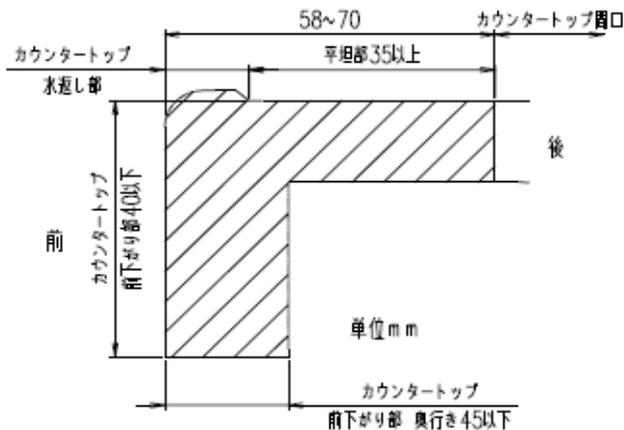


図3ーガスコンロセット時の仮想断面図

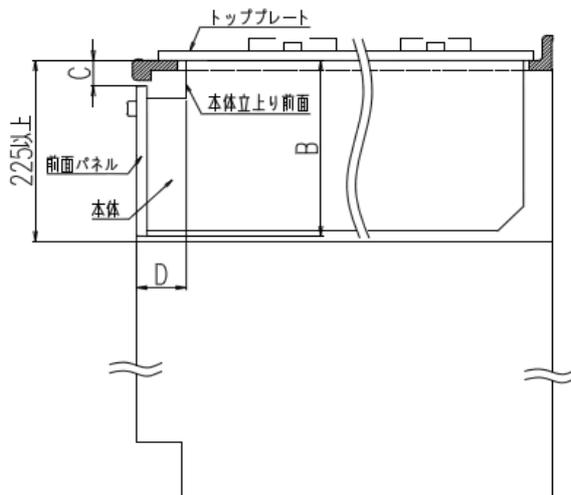


A-A'断面図

図4ーカウンタートップ断面図

5.3 コンロキャビネットが具備すべき条件

- ・ 本体部の収まる高さ寸法は(カウンタートップ面より)225mm以上であること。



5.4 ガスコンロ（ビルトイン）交換時の注意事項

- 法令に規定がある工事(ガス配管工事、電気工事)に関しては、有資格者が行う。

6. 解説

- ・ 市場で主流を占めている機種(製品の呼び寸法600及び750)について標準(共通)化を行った。
- ・ ガス配管位置などは交換時現場対応が可能と考え標準化は行わなかった。
市場で主流を占めている機種については、製品の呼び寸法600及び750に関係なく
- ・ 交換時重要となる本体寸法は変わらないため、呼び寸法別の標準化は行わなかった。

7. 共通事項

7.1 寸法について

- ・ 寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

8. 改訂履歴

8.1 2016年4月28日改訂

- ・ 対象製品名称、略称見直しによる改訂
- ・ 7.1寸法について記載内容改訂